

# 第55期 中間報告書

平成26年4月1日 至 平成26年9月30日

55<sup>th</sup>  
2nd. QUARTERLY REPORT



△トー精工株式会社

## ムトーは、最適製造・最適調達を ワールドワイドに展開します。

当社は、射出成形用金型の設計・製作、及び精密プラスチック部品製造のハイレベルな専門技術を中心に、成形・塗装・印刷・組立などの二次加工技術も領域に加え、金型設計から完成品までの一貫した生産体制を誇ります。世界水準を超える技術力の高さを武器に、最適製造・最適調達システムの展開をワールドワイドに推進しています。

### 超精密製品製造に 対応する体制

24時間体制の自動化ラインでニーズに柔軟に応え、品質向上とコスト削減を実現しています。また、形状や規格等、顧客に求められる厳しい検査基準に対し、高い計測技術で応えています。



### 金型から造る技術力

精密プラスチック部品メーカーとしては珍しく、金型設計・製作から自社で行うことで、早期の問題点の把握、材料に応じた最適設計の提案など、設計協力の部分でも高い信頼を得ています。



### プラスチックの 射出成型の 一貫生産

### 顧客に近いアジア地域 での圧倒的な生産力

現在、製品の6割強をアジア地域で生産しています。各国の生産拠点を担う、現地人材育成に注力し、技術力、ソリューション力の高い水準での均一化で、顧客の最適調達をサポートしています。



### 環境配慮も 追求した塗装・組立

顧客の求める環境基準への適合はもちろんのこと、「取り組もう環境保全・大地の恵みを次世代へ」を全社スローガンに、社員教育の徹底や各工程における環境汚染物質、廃プラスチックの削減を実行しています。



## 最先端の技術力と高い供給力を武器として 安定的な市場拡大を目指した 事業の多角化を進めていきます。



平成26年12月  
代表取締役社長

田中 肇

### Q 第55期上期の状況はいかがでしたか？

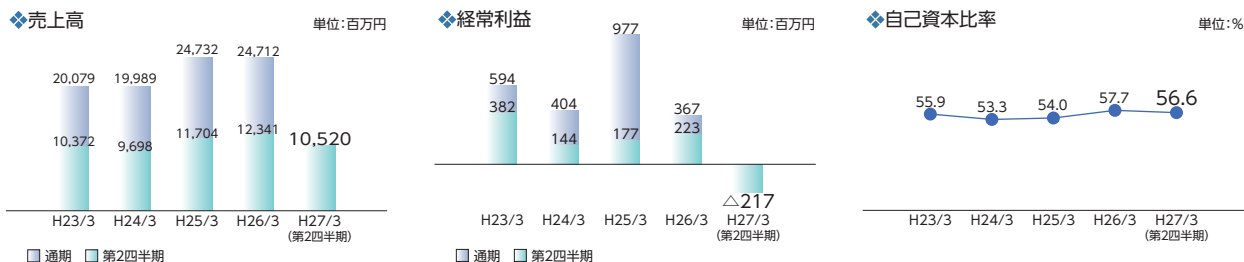
A 当社は、プラスチック成形用金型及びプラスチック精密部品の製造・販売、各種設計業務並びに技術支援等のサービス業務、プリント配線基板の設計・検査・販売を行っています。主な製品分野は、音響機器、映像機器、光学機器、コンピュータ関連機器、自動車関連部品になります。

第55期上期(平成26年4～9月)は、高性能なスマートフォンの普及に伴い、当社の主力製品であるデジタルカメラやビデオカメラ関連部品では、顧客企業の生産自体が低迷、前期まで好調に推移していた電子ペン関連も昨年より減少することになりました。

一方、自動車関連各社では、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、個人消費の減少を予測した生産調整に踏み切られたことで、一時的ではありますが、受注の減少がありました。この結果、第55期上期の業績は売上高105億20百万円(前年同期比△14.7%)、営業損失3億8百万円(前年同期は1億8百万円の営業利益)、経常損失2億17百万円(前年同期は2億23百万円の経常利益)、四半期純損失2億11百万円(前年同期は1億94百万円の四半期純利益)となりました。

### Q 将来を見据えた、収益の改善や新規顧客の拡大についてお聞かせください。

A これまでも当社の主力製品は、様々な分野へと変遷して



きました。据え置き型のビデオデッキからゲーム機、そしてデジタルカメラ・ビデオカメラへ、常に次期の成長分野を模索し、主力製品をシフトしてきました。第55期は、ちょうどこの製品シフトの踊り場にあたります。そこで当社は、積極的に新規市場の開拓に着手し、いくつかのプロジェクトが進行しています。

まず、医療用機器向けの部品の製造です。精密プラスチック部品を安定して供給できる強みに加え、クリーンな環境の維持など総合的な管理能力を評価していただき、新規参入を果たすことができました。第55期では、具体的な売上に寄与できるまでには至りませんでした。顧客企業が求める事業スピードに対する対応強化など課題を解決することで、来期以降には大きな売上につなげていけると確信しています。

次に海外工場であるムトーベトナムを中心とした新規取引先の拡大です。ベトナムに進出して19年を迎え、ローカルスタッフの技術力、ソリューション能力も向上し、200名以上のスタッフが3交代で精密金型を供給できる体制が整ってきました。この競争力を活かした営業活動を展開した結果、多くの日系企業の新規口座開設に至りました。これは、中国に進出した日系製造業が、チャイナプラス1戦略として、ベトナムやタイなどに新たな製造拠点を設立し、ベトナムエリアでの精密金型を供給できる企業を模索していた矢先、これ

までの精密プラスチック部品製造で培った、当社の最先端の技術力と高い供給力が評価されたからです。既にいくつかのプロジェクトを立ち上げ、主に医療関連製品のプラスチック部品用精密金型の商談が進行中です。

そして最後に、当社のビジネスモデルの上流工程である、「企画・設計段階での試作」にも取り組んでいくことにしました。これは、ある顧客企業から量産前の企画設計段階の試作から取り組んでくれないかという依頼を受けたことがきっかけです。今までは、量産前の試作→量産用金型製作→プラスチック部品量産→納品というビジネスモデルだったのですが、「企画・設計段階での試作」という上流工程から一括して受注、それが非常にスムーズに進行した結果を受け、上流工程の企画・設計段階での試作から最終的な製品量産化に至るまで受注し、収益の幅を広げていくことにしました。専用の部署を新設し、今後は、試作だけの受注をすることも視野に入れて取り組んでいきます。

🗨️ 株主の皆様にもメッセージをお願いします。

Ⓐ 下期の業況としては、現状当社の主力製品である、デジタルカメラ・ビデオカメラ市場の急激な回復は期待できないと

## ムトータイランドの紹介

ムトーグループ成長の鍵を担う最新の海外拠点ムトータイランドです。ムトーグループからの応援により、従業員教育、品質管理また、充実した設備が整い、今後タイ国でのビジネス展開を加速してまいります。



最新鋭の成形設備



日本人技術者と現地スタッフとの品質会議

考えています。従って、この製品分野での売上は減少すると思われる。一方、昨年下半年に好調であった電子ペンは、新たなモデルが今秋に投入されることが決まっており、ある程度売上が回復することが期待できます。もう1つの主力である自動車関連製品は、国内での消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響が徐々に薄れていくとともに、米国景気の回復や為替相場の影響で輸出が堅調であることから、計画通り推移するものと思われる。

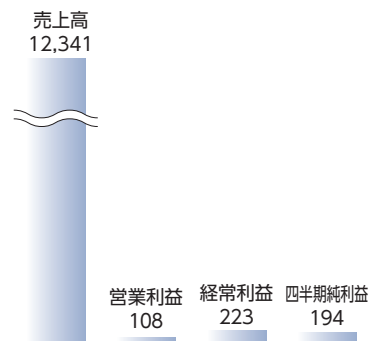
厳しい経営環境下ではありますが、私は来期以降に対して明るい展望をもっています。それは当社の精密金型を製造する技術力と高い供給能力が、製造業各社に高く評価されたからです。来期以降の成長を確かなものとするために、当期はしっかりと未来の商品をみつけ、それを発展させていくパワーをつけていきます。

株主の皆様におかれましては、当期の業績結果だけに注目されることなく、長期的な視野に立って、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。なお、株主配当につきましては、既に発表済みである16円の安定配当をしていく予定です。



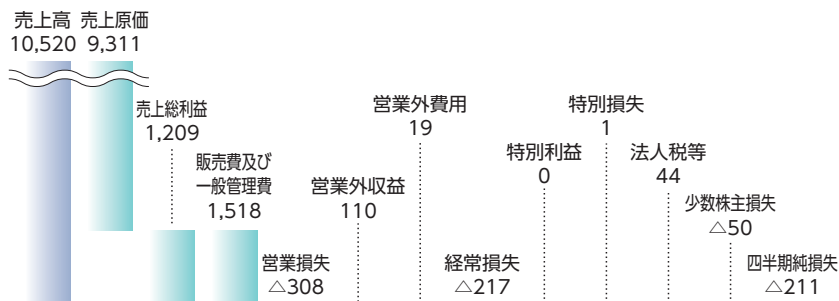
### 収益の状況(連結)

(単位:百万円)



H26/3 第2四半期

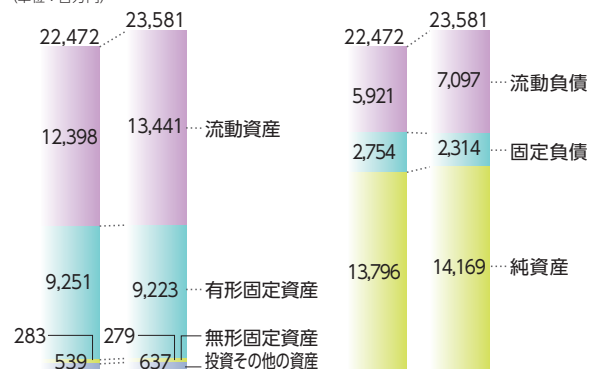
(単位:百万円)



H27/3 第2四半期

### 資産の状況(連結)

(単位:百万円)

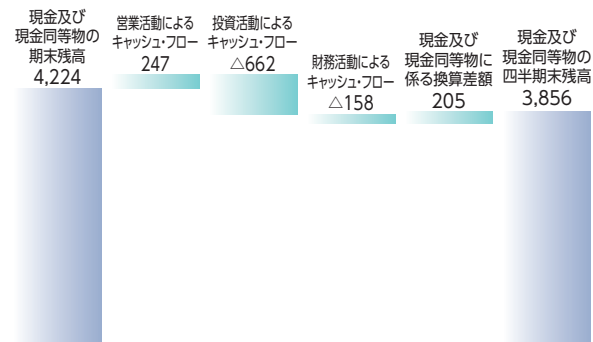


H26/3期末 H27/3 第2四半期末

H26/3期末 H27/3 第2四半期末

### キャッシュ・フローの状況(連結)

(単位:百万円)



H26/3期末

H27/3 第2四半期末

➔ 会社概要

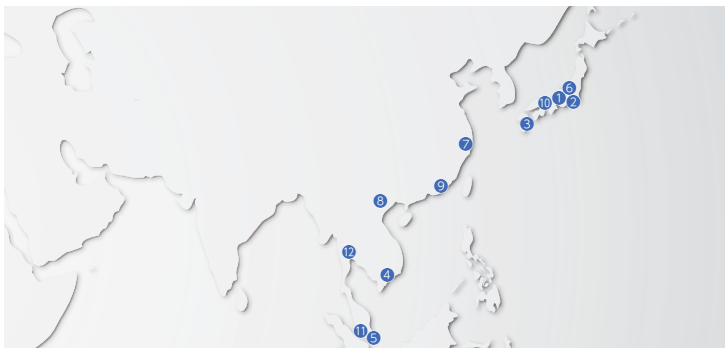
商号	ムトー精工株式会社	
本社所在地	岐阜県各務原市鷺沼川崎町1丁目60番地の1	
ホームページ	http://www.muto.co.jp/	
創業	昭和31年6月	
資本金	2,188百万円	
従業員数	連結5,386名	個別241名

➔ 事業の内容

当社は、プラスチック成形用金型及びプラスチック精密部品の製造・販売、各種設計業務並びに技術支援等のサービス業務、プリント配線基板の設計・検査・販売及び音響機器、映像機器、光学機器、コンピュータ関連機器などの精密プレス部品製造・販売を行っております。高度な専門技術を中心に、金型設計から金型製造そしてプラスチック成形、二次加工として塗装 (UV)・印刷・レーザーカット、そして最終工程の組立までの一貫生産を行っております。

また、海外戦略として、本社工場をマザー工場と位置付け、中国・東南アジア方面へ生産拠点のグローバル化を推進し、最適製造・最適調達システムをワールドワイドに展開しております。

➔ グローバルネットワーク



- ① 本社
- ① 岐阜工場
- ① テクニカルセンター
- ② 東京営業所
- ③ 大分営業所
- ④ ムトーベトナムCO.,LTD.
- ⑤ ムトーシンガポールPTE LTD
- ⑥ 大英エレクトロニクス株式会社
- ⑦ 豊武光電 (蘇州) 有限公司
- ⑧ ムトーテクノロジーハノイCO.,LTD.
- ⑨ 武藤香港有限公司
- ⑩ タチバナ精機株式会社
- ⑪ ハントンスプリングインダストリーズSDN.BHD.
- ⑫ ムトー (タイランド) CO.,LTD.

➔ 株式の状況

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	7,739,548株 (自己株式552,547株を含む。)
株主数	2,193名

➔ 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
武藤昭三	448	5.80
ムトー精工従業員持株会	405	5.25
船橋和夫	333	4.30
株式会社大垣共立銀行	328	4.25
ビービーエイチ フォー フィデリティロー プライズド ストック ファンデ	290	3.75
株式会社十六銀行	270	3.50
名古屋中小企業投資育成株式会社	247	3.20
株式会社三菱東京UFJ銀行	220	2.84
竹田和平	197	2.55
田中肇	174	2.26

(注) 1.当社は、自己株式552千株を保有しておりますが、当該株式会社には議決権がないため、上記の大株主から除いております。  
2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。



# ムト-精工株式会社

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
公告方法	電子公告 ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告のホームページアドレス <a href="http://www.muto.co.jp/hp-data/koukoku.htm">http://www.muto.co.jp/hp-data/koukoku.htm</a>
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同 取 次 窓 口	三井住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店

### (お知らせ)

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・「配当金計算書」について  
配当金お支払の際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。  
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。  
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払の都度「配当金計算書」を同封させていただいております。  
確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。



この印刷物は、  
植物油インキを  
使用しています。